

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年4月16日

## 訪日外客数（2025年3月推計値）

◇3月：3,497,600人、過去最速で累計1,000万人を突破

- 3月の訪日外客数は3,497,600人で、前年同月比では13.5%増となった。3月として過去最高であった2024年の3,081,781人を大きく上回り同月過去最高を記録した。また3月までの累計では10,537,300人となり、過去最速で1,000万人を突破した。
- 春の桜シーズンに入り多くの市場で訪日需要が高まったこと、東南アジアの一部の市場や中東地域ではイスラム教の断食明け休暇に合わせて海外旅行需要が増加したこと等により、東アジアは中国、東南アジアではインドネシア、欧米豪では米国を中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 米国やカナダなど6市場で単月過去最高を更新したほか、韓国や台湾、タイなど11市場で3月として過去最高を記録した。また3月までの累計ではすべての重点市場で過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

\* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値 (Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数 (2003年～2025年) (PDF・Excel)」

\* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

\* 単月過去最高の6市場はインド、米国、カナダ、ドイツ、ロシア、中東地域、3月過去最高の11市場は韓国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、豪州、英国、フランス、イタリア、スペイン

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

# 2025年 訪日外客数・出国日本人数

## 2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸率 Change %	2024	2025	伸率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,100 *	16.9 *	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,600 *	13.5 *	1,219,789	1,423,400 *	16.7 *
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)			888,767		
5 May	3,040,294 (2,758,219)			941,709		
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)			930,229		
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)			1,048,823		
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)			1,437,126		
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)			1,212,545		
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1~3 Jan.-Mar.	8,558,483 (7,705,830)	10,537,300 *	23.1 *	3,037,254	3,516,800 *	15.8 *
1~12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、\*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び\*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while \* stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

## 2025年3月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for Mar. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 3月	2025年 3月	伸率(%)	2024年 1月～3月	2025年 1月～3月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,081,781	3,497,600	13.5	8,558,483	10,537,300	23.1
韓国	South Korea	663,102	691,700	4.3	2,338,703	2,506,100	7.2
中国	China	452,525	661,700	46.2	1,328,076	2,364,900	78.1
台湾	Taiwan	484,454	522,900	7.9	1,478,979	1,623,600	9.8
香港	Hong Kong	231,373	208,400	-9.9	623,557	647,600	3.9
タイ	Thailand	131,749	148,200	12.5	323,777	361,800	11.7
シンガポール	Singapore	61,047	65,300	7.0	132,102	153,300	16.0
マレーシア	Malaysia	41,953	53,100	26.6	134,210	193,000	43.8
インドネシア	Indonesia	37,448	60,600	61.8	116,981	170,800	46.0
フィリピン	Philippines	78,821	72,300	-8.3	200,814	211,200	5.2
ベトナム	Vietnam	67,475	64,100	-5.0	172,258	188,200	9.3
インド	India	27,206	33,000	21.3	49,779	62,100	24.8
豪州	Australia	82,781	84,800	2.4	252,886	313,800	24.1
米国	U.S.A.	290,075	342,800	18.2	570,649	716,900	25.6
カナダ	Canada	57,779	68,100	17.9	123,346	154,900	25.6
メキシコ	Mexico	15,472	14,600	-5.6	29,961	34,700	15.8
英国	United Kingdom	56,450	58,100	2.9	102,136	115,900	13.5
フランス	France	34,685	36,500	5.2	71,397	79,500	11.3
ドイツ	Germany	47,553	48,100	1.2	72,817	79,400	9.0
イタリア	Italy	24,394	25,500	4.5	38,828	45,400	16.9
スペイン	Spain	16,797	17,800	6.0	27,889	35,000	25.5
ロシア	Russia	10,579	18,800	77.7	16,728	29,400	75.8
北欧地域	Nordic Countries	18,075	16,600	-8.2	34,433	37,800	9.8
中東地域	Middle East	11,876	24,100	102.9	23,986	46,800	95.1
その他	Others	138,112	160,500	16.2	294,191	365,200	24.1

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は暫定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。  
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are provisional, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

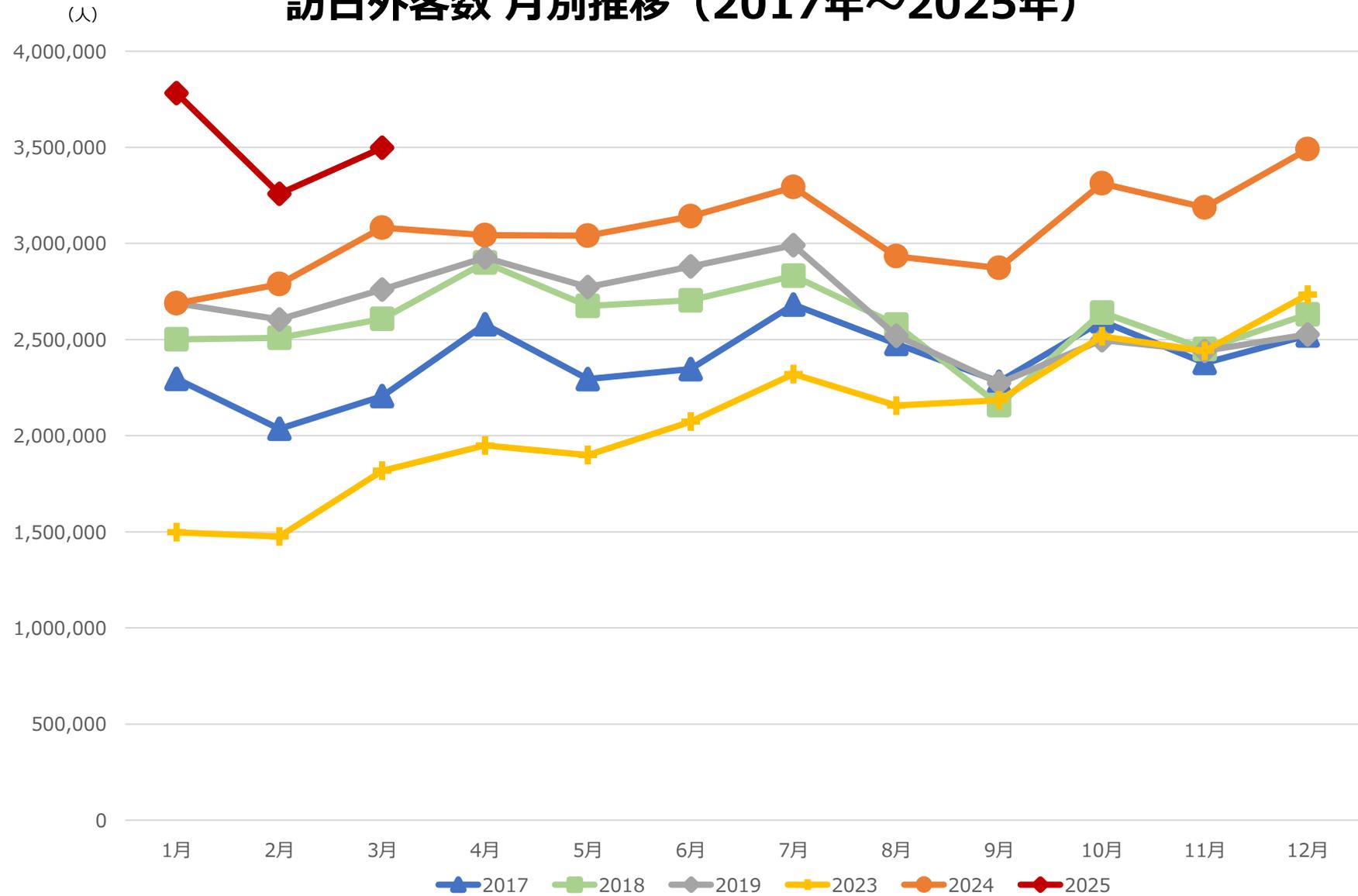
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

# 訪日外客数 月別推移 (2017年~2025年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年~2022年の数値は除く。  
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

# 地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年3月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年4月11日時点)として  
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航  
空路線で2025年3月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

## 全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や  
旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ  
情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。な  
お、多くの市場において円安傾向が継続している。なお、3月は例年桜シーズンによる訪日需  
要の高まりにより、多くの市場で訪日旅行者が多くなる傾向にある。

## 1. アジア

### ① 東アジア

- 韓国は、691,700人(前年同月比4.3%増)であった。為替レートがウォン安傾向になったもの  
の、仁川～熊本間や釜山～中部間等の増便、清州～花巻間等のチャーター便運航や祝日等  
の影響もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- 中国は、661,700人(前年同月比46.2%増)であった。3月は春節休暇とスクールホリデー後  
の旅行需要の落ち着くシーズンであるものの、成都～関西間、北京～関西間、南昌～関西間  
等の増便等の影響や昨今の情勢を踏まえ、競合国よりも日本を選択する動きが見られたこと  
もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、522,900人(前年同月比7.9%増)であった。台北～松山間や高雄～新千歳間等のチ  
ャーター便を含む地方路線による航空座席数増加の影響やクルーズ船の寄港もあり、訪日外  
客数は3月として過去最高を記録した。
- 香港は、208,400人(前年同月比9.9%減)であった。前年同月と比較して地方路線を含む増  
便等の影響により航空座席数が増加したものの、前年は3月下旬からであったイースター休  
暇が今年は4月中旬からとなった影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

### ② 東南アジア

- タイは、148,200人（前年同月比12.5%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、継続する日本人気やバンコク～成田間の増便、バンコク～高松間のチャーター便の運航等により航空座席数が増加していることの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- シンガポールは、65,300人（前年同月比7.0%増）であった。前年同月と比較して直行便数が増加していることに加え、広告などの各種プロモーションやスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、53,100人（前年同月比26.6%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、イスラム教の断食明け休暇、マレーシアリングイト高や景況感の回復等の影響もあり、3月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、60,600人（前年同月比61.8%増）であった。割安な訪中旅行への人気の高まり等あるものの、ジャカルタ～羽田間の増便などによる直行便数の増加、イスラム教の断食明け休暇の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、72,300人（前年同月比8.3%減）であった。マニラ～新千歳間の復便や好調な経済状況を背景とする海外旅行需要の増加等があるものの、前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- ベトナムは、64,100人（前年同月比5.0%減）※であった。ハノイ～出雲間等の地方チャーター便の運航やインセンティブツアーの催行等の影響があったものの、割安かつ査証免除・取得が容易な東南アジアや中国等への旅行需要の高まり等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

※留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、33,000人（前年同月比21.3%増）であった。需要の集中による旅行コストの上昇等があるものの、ベンガルール～成田間の増便、経路便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

## 2. 豪州、北米

- 豪州は、84,800人（前年同月比2.4%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、豪州からのアウトバウンド需要自体が増加していることや前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。

- **米国**は、342,800人（前年同月比 18.2%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、継続する訪日旅行の人気に加え、東京で開催されたスポーツイベントや3月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **カナダ**は、68,100人（前年同月比 17.9%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、継続する訪日旅行の人気に加え、3月中旬から始まったスクールホリデーや前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、14,600人（前年同月比 5.6%減）であった。継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等があったものの、前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

### 3. 欧州

- **英国**は、58,100人（前年同月比 2.9%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、継続する訪日旅行人気や中国経路等の経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、36,500人（前年同月比 5.2%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、継続する訪日旅行人気や若年層の訪日需要の高まりもあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、48,100人（前年同月比 1.2%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響があったものの、継続する訪日旅行人気や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、25,500人（前年同月比 4.5%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなったものの、継続する訪日旅行人気や2024年12月の羽田～ミラノ間の新規就航や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、17,800人（前年同月比 6.0%増）であった。前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなったものの、2024年10月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加に加え、継続する訪日旅行人気や経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は3月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、18,800人（前年同月比 77.7%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、3月下旬から始まったスクールホリデーの影響やクル

ーズ需要の高まりのほか、中国経由をはじめとした経路便の多様化もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

#### 4. 北欧地域

- **北欧地域**は、16,600人（前年同月比 8.2%減）であった。2025年1月末からのストックホルム～羽田間の新規就航により訪日旅行に関する報道が増えていることの影響があったものの、前年は3月下旬からであったイースター休暇が今年は4月中旬からとなった影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

#### 5. 中東地域

- **中東地域**は、24,100人（前年同月比 102.9%増）であった。前年は4月上旬からであったイスラム教の断食明け休暇が今年は3月下旬からとなったことに加え、昨年3月は訪日者数が減少していたイスラエル市場の反動増や前年同月と比較して直行便数が増加したこと等の影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。